

令和8年10月26日

コミュニティ・スクール便り



板橋区立下赤塚小学校 コミュニティ・スクール委員長 原 泰嘉
校長 樋口 悦子

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。10月14日（水）に、第3回コミュニティ・スクール委員会を開催しました。今回の熟議は、ふれあい月間（いじめ防止月間）の取り組みについて話し合いました。



○学校から

- ・下赤塚小学校のキャッチコピー（板橋区のSNS）を「地域のまつりあり、イベントあり、打ち上げ花火あり！ 子どもも大人も『しもあか』大好き！！ 地域に愛され、地域を愛し、地域のよさを語れる子 下赤塚小学校」とした。
- ・3～6年生合同で実施している総合的な学習の時間「下赤ラボ」について、ゲストリーダーを呼んだり、フィールドワークに出かけたりして、探究学習を深めている。
- ・運動会について、昨年の反省を踏まえ、より本校の実態に合った運動会にするために準備をしている。児童も教員も「達成感」を味わうことができる運動会を目指す。

○学校地域支援本部から

- ・ 次回の寺子屋は12月5日（土）に実施する。おやじの会の花火大会も行われる。
- ・ 冬休みにも、うさぎ飼育リレーを実施する。
- ・ 1月30日（土）、31日（日）に「だれコン」を開催する。
- ・ 下赤塚小学校を支える各組織、「学校」「CS」「PTA」「おやじの会」などを繋ぐ愛称として「しもあかえ〜る」を導入してはどうか。各組織が連携を図り、「地域全体が自分たちを温かく見守り、応援してくれている」という安心感と、郷土愛を育んでいきたい。

○熟議「学校・保護者・地域が連携していじめのない学校をつくっていくために、ふれあい月間にどのような取組をしていくとよいか。」

ふれあい月間の取組について	主な意見
・ ふれあい月間は、全ての学校で3回実施している。（6月・11月・2月） ・ いじめ未然防止のために「校長講話」「挨拶運動」「いじめに関する授業」を行った。 ・ いじめ早期発見、早期解決のために「いじめアンケート」「児童との面談」を行った。 ・ いじめに関する「教員研修」を実施した。 ・ 11月には、挨拶運動を4～6年生の児童が主体となって行えるようにする。 ・ 代表委員会による「いじめ防止のための劇」を実施する予定。	・ 具体的に一步一步「いじめ防止」のための取組をすすめていることが素晴らしい。 ・ 学校の取組を保護者や地域に広めていくことが大切。積極的に情報発信をしてほしい。 ・ 地域に協力してほしいことは、町長会議で伝えることで、各町会の協力を得られるのではないか。 ・ いじめアンケートの結果を保護者と共有すると、「保護者との連携」につながるのではないか。

次回のコミュニティ・スクール委員会は、12月9日（水）を予定しています。